

- 課題の見られた問題 4三
- 出題のねらい

4三は、場面の展開や登場人物の心情の変化について、描写を基に捉える問題である。出題の意図は、令和4年度の分析において、登場人物の言葉や行動が話の展開などにどのように関わっているかを考えながら内容を解釈することに課題がみられたため、全国学力・学習状況調査の結果も踏まえ、細部の描写に着目しながら物事の様子や場面、行動や心情などの変化を捉える問題とした。

- 分析結果と課題

分析の結果、全体の7割弱の生徒が設問の内容や意図を理解していないことが分かった。

原因として、言葉（「とっかかり」）の意味を理解していないことや、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景などを通して暗示的に表現されている描写を基に捉えられないことが考えられる。

課題として、細部の描写に着目しながら、物事の様子や場面、行動や心情などの変化を丁寧に捉えることができていないことが考えられる。

- 学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、文章の中の時間的、空間的な場面の展開、登場人物の相互関係や心情の変化、行動や情景の描写などに注意しながら読み進めることが大切である。例えば、心情を表す言葉を取り上げてその変化をたどったり、叙述の細かな違いに注意して読み、それぞれの叙述が表している心情の違いを考えたりする学習活動を設定することが必要である

指導例

言葉を比較することで意味を類推し、心情の違いを考えさせる指導

～単元名『少年の日の思い出』に描かれていない場面を想像し、考えを交流しよう。』（7時間扱い）～

【学習指導要領における内容】

1 学年「知識及び技能」（1）

ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

1 学年「思考力、判断力、表現力等」C（1）

イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。
オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。

【指導の流れ】

1 学習の見通しをもたせる。

- 学習活動**
- ・単元を通して自分が身に付ける力を確認した上で、作品を通読する。
 - ・感想を交流し、単元を通して追究する課題を確認する。

2 作品の展開を捉えさせる。

- 学習活動**
- ・語り手の転換に注意しながら、全体を前半と後半の二つに分ける。
 - ・時間、場所、出来事に着目しながら、後半をいくつかの場面に分け、概要を短くまとめる。

3 「僕」と「エーミール」の人物像を捉えさせる。

- 学習活動**
- ・「僕」と「エーミール」について描写されている叙述を抜き出す。
 - ・抜き出した叙述をまとめ、人物像を捉える。
 - ・「僕」の心情の変化を、場面の展開に沿ってまとめる。

4 最後の場面における「僕」の心情を捉えさせる。



ちょうをつぶした最後の場面について考えてみましょう。「僕」はどんな気持ちで自分の集めたちょうをつぶしてしまったのでしょうか。「僕」のいろいろな気持ちを出し合い、検討していきましょう。

学習活動① 学習の見通しをもつ。



最後の一文のところで「僕」の気持ちをどのように考えていくとよいですか。

ちょうをつぶすところまでの物語をもう一度読み直して、ちょうをつぶしたわけを整理してみればよいと思います。



この場面は、一つ一つの行動が細かく書かれていると思います。だから、それぞれの言葉を詳しく想像していくとよいと思います。



学習活動② 個人で課題について追究する。



それでは、最後の一文の中にある言葉を抜いたり、別の言葉に置き換えたりして、ちょうをつぶした「僕」の気持ちを考えましょう。例えば「一つ一つ」に着目してみましょう。この言葉を抜いたり、「少しずつ」など別の言葉に置き換えたりして、元の文と比べてどのように変わるか考えてみてください。また、「一つ一つ」以外の言葉に着目して考えてみるのもよいでしょう。

学習活動③ 全体で課題について追究する。



「一つ一つ」を抜き取って比べると、元の文はずっと大事なものを扱っている感じがして、長い間集めたちょうに別れを言っているような気がします。

僕も同感です。「一つ一つ」があることで、これまで集めてきたちょうをよく見て、別れの挨拶をしていると思いました。



それはどうでしょうか。「闇の中で」とあるから、「僕」はちょうに対して申し訳ない気持ちでいるし、見たら楽しかったことも思い出してしまうから、見ないようにしていたと思います。



ポイント

全体で課題について追究するときには、最後の一文の言葉の印象だけではなく、物語の流れも踏まえて「僕」の気持ちを考えさせる。

〈板書例〉

学習問題 「僕」はどんな気持ちで自分の集めたちょうをつぶしてしまったのだろう。	見通し そして、ちょうを一つ一つ取り出し、指で粉々に押しつぶしてしまった。 の一文にある言葉を抜いたり、別の言葉に置き換えたりして、元の文の意味と比べてみよう。	選んだ言葉 一つ一つ 〈抜いた場合〉 ・「一つ一つ」を抜くと、ちょうを大事に取り扱っている感じがなくなる。	別の言葉に置き換えた場合 ・「一つずつ」や「少しずつ」に比べると、ちょうを集めをしていた大切な思い出をかみしめている気がする。	選んだ言葉 粉々に 〈抜いた場合〉 ・「粉々に」を抜くと、ちょうの存在を完全に消し去りたい、という思いが感じられなくなる。	別の言葉に置き換えた場合 ・「ばらばらに」に比べると、ちょうが細くなるまでつぶしたことが分かる。その分だけ、自分を責める思いの強さを感じる。
--	---	--	---	--	--

学習活動④ 改めて自分で考えをまとめ、全体で確認する。

5 「現在」の場面の役割について考え、想像したことを書かせる。

- 学習活動**
- ・「過去」の話を打ち明けられた「私」が、「客」にどのような言葉を返すかについて、叙述を根拠として想像し、自分の考えを書く。
 - ・書いた文章を読み合い、自分の考えを広げる。

6 学習を振り返らせる。

- 学習活動**
- 学級での交流を通して広がったり深まったりした考えを書き、発表する。